

昭和四十六年六月一七日 第三種郵便物認可 昭和五十七年十一月五日SSK通刊第九四号(毎月六回 5の日、0の日発行)

視覚障害

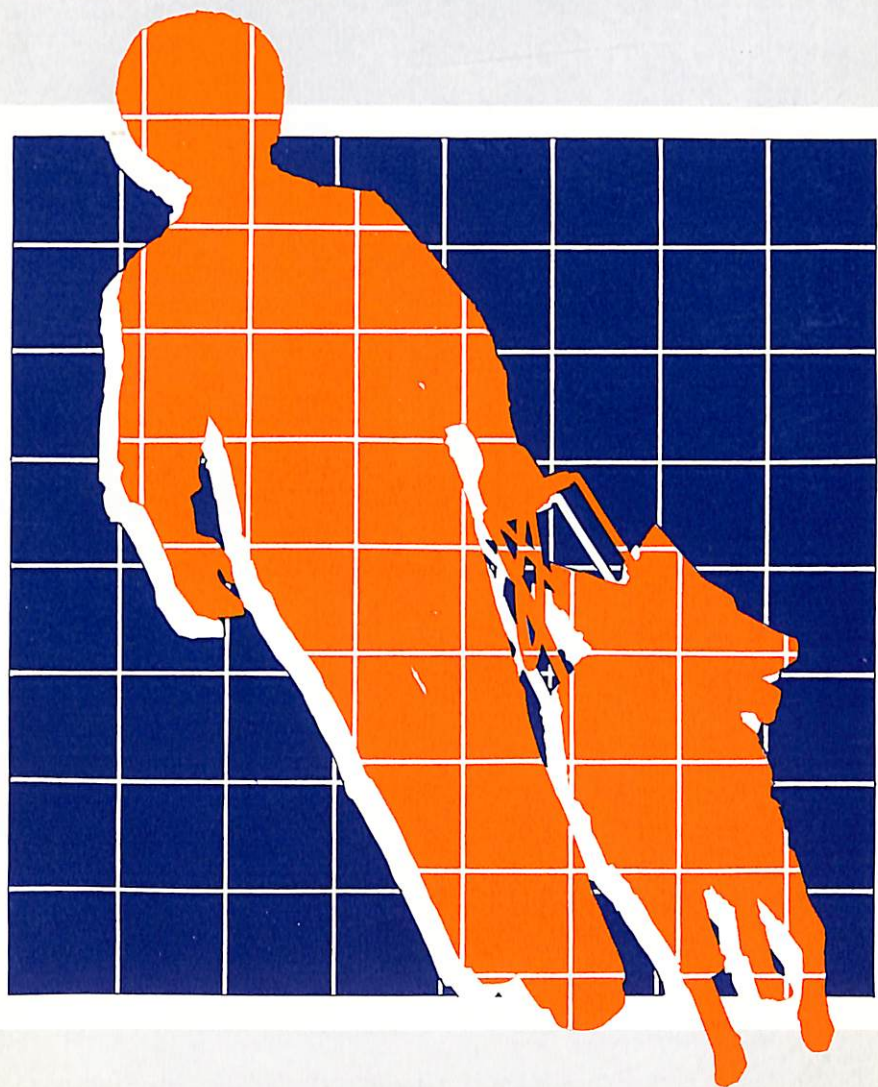
その研究と情報

SSK 1982年11月 No.62

ISSN 0385-7476

特集／
芸術サークルは花盛り

11



* 物語の中に入りこんでしまった少年のふしぎな冒険

はてしない

物語

M・エンデ作

上田真而子訳
佐藤真理子訳

『モモ』に続く、
エンデの待望久しい長篇ファンタジー



バスチアンはあかがね色の表紙の本を読んでいた―ファンタジー
エン国は「虚無」におかされ滅亡寸前。この国を救うには人間の世
界から子供を連れてくるほかない。その子は、あかがね色の表紙
の本を読んで十歳の少年だ―ほくのことだ! 叫んだとたん
本の中にすいこまれ、この国の滅亡と再生を体験することになる。
(内容見本進呈)

菊判上製函入・五九〇頁・本文二色刷 定価二八〇〇円

発売以来5年間で10万部に迫るベストセラー

M・エンデ作・絵 大島かおり訳

△岩波少年少女の本 小学5・6年以上

モモ

時間どろぼうと
ぬすまれた時間を人間に
とりかえしてくれた女の子のふしぎな物語

A5判上製函入・三六〇頁 定価一六〇〇円

あくせくと時間に追われ、おちつきを失って
人間本来の生き方を忘れてしまった現代の人
人。このように人間たちが時間を奪ってい
るのはいかなるのだらうか? 実は時間泥棒
の一味の無気味な陰謀だったのだ。時間の真
の意味を問うファンタジー。

岩波書店



東京千代田一ツ橋千101
振替〈東京〉6-26240

われら 芸術サークル



第25回神奈川県合唱祭での演奏風景

あさみず混声合唱団



指揮者がスポイトを押し、団員の掌のカエルに伝える。伴奏者は、正眼者なのでカエルを仰向けにして、ピアノにセロハンテープでつけてある。



神奈川県生録クラブ



六ツ星川柳会



前列左端が選者の山崎涼史先生



竜宝寺にある柄井川柳の句碑

アンサンブル・アミー



『芽』同人誌

盲人文芸愛好家作品集

芽

第 10 号

昭和57年10月

(創刊10周年記念号)

東京ヘレン・ケラー協会内
日本盲人作家クラブ

盲人作家クラブの墨字版
同人誌『芽』、昭和57年に
は創刊10周年を迎えた。

(グラビアページの詳細は本文特集記号をご覧ください。)

目 次

1982年 11月 No.62

2 ページ評論	和波 孝禧	2
---------	-------	---

特集 芸術サークルは花盛り

創刊10号を迎えて、さらに飛躍を	杉浦 新	5
------------------	------	---

蛙の指揮具で歌うあさみず混声合唱団	大八木 麗子	11
-------------------	--------	----

川柳と人生	福田 案山子	17
-------	--------	----

アンサンブル・アミー その演奏活動と		
--------------------	--	--

社会的役割	寺西 勇二	22
-------	-------	----

神奈川県生録クラブの歩み	大川原 和雄	28
--------------	--------	----

北点のテープ月刊誌あれこれ	後藤 市郎	35
---------------	-------	----

この人 平家琵琶の今井勉さん		41
----------------	--	----

80年代の視覚障害児教育(10)

点字指導 — その現状と課題 —	永井 昌彦	46
------------------	-------	----

インフォメーション・コーナー		53
----------------	--	----

日本盲人福祉研究会研究費助成制度募集		58
--------------------	--	----

編集後記		60
------	--	----

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編 集 後 記

世の中には趣味と言われるものが数えきれないほどあります。その中で、視覚障害のために絶対にできないというものは意外に少ないようです。今回の特集は、そのうちでも芸術らしきものを選んで御執筆いただきましたが、これ以外にも短歌・俳句・華道・茶道などさかんに行われています。そのほかスポーツ的なもの、実用的なもの、競技的なもの、多数の盲人がそれぞれの活動に参加しています。

しかし、特集にも見られるように、その多くは盲人同士のグループであって、正眼者の中で盲人が楽しんでいる例はあまり聞きません。視覚障害から来るハンディを取り除くためには、何か特別なサポートが必要なのか、それとも単なる違和感のような心理的なものによるのか、よくわかりませんが、最も“社会参加”しやすい分野だけに残念な気がします。

現在、本誌の購読者を拡大するために、盲学校を中心に、一括送付の担当世話係をお願いする作業を進めています。担当をお願いする方にはたいへんど迷惑をおかけすることになるかと思いますが、購読者の拡張にご協力いただきますようお願いいたします。また、担当の方はまったく善意でお手伝いしていただいておりますので、周辺の読者の皆様も、ぜひご理解くださいますようお願いいたします。

(田中 徹二)

視 覚 障 害 1982年11月 Na62
年間購読料 2,500円 (送料とも)
発行日 1982年11月 1 日
編集人 (連絡先)

日 本 盲 人 福 祉 研 究 会

〒160 東京都新宿区高田馬場1丁目
日本点字図書館内 23番4号
電話 (03) 200-1130
振替口座 東京 6-16103
発行人 身体障害者団体定期刊行物協会
〒157 東京都世田谷区砧 8-21-3
印刷所 合同印刷株式会社
〒130 東京都墨田区業平 2-9-13
電 話 (624) 6111 (代表)

協賛団体 日本点字図書館